

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	12人	0人	0人	0人	0人

前回の改善計画	新規ご利用者には、「初めの関わり」を徹底し、また既存のご利用者に対しても状態変化に合わせてアセスメント・カンファレンスを行い、必要な関わりやサービスをチームで検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規・既存ご利用者へのアセスメントやカンファレンスを通じ、チームで必要な支援を検討する取り組みを実践できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	12	0	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	12	0	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	12	0	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	11	1	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規ご利用者には、これまでの暮らしや生活習慣の聞き取りを行っている。 利用間もない方には1人にならないよう、見守り職員を配置して常に目配り、気配りを行っている。 利用開始時には所長やケアマネジャーの情報を職員間で共有している。 情報提供書やサマリー、申し送り、記録を通じて情報を把握し、ミーティング欠席時は連絡ノートの発信で確認している。 他の職員が関わった内容やADLは「はじめの関わりシート」で情報共有している。 ご利用者の日々の体調や気分に応じ、必要な声掛けや見守りを行っている。 聞き取りした内容は所長・リーダーに報告し、指示を仰いでいる。 送迎時等、ご家族と会えるタイミングで困りごとや不安を傾聴し、所長に報告している。積極的に声掛けを行い、様子を聞き出している。 ご家族とのコミュニケーションも心掛け、ノートやメール、必要時には電話連絡を行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
アセスメントの頻度を増やし、状態変化に応じた支援をよりきめ細かく行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	12	0	0	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	12	0	0	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	12	0	0	0	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	10	2	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けたステップを日々のレクリエーションや活動に取り入れ、目標達成をサポートしている。 ・定期的にアセスメントやモニタリングを行い、状態把握に努め情報共有している。ケアプランを確認し、介護プランに反映している。 ・担当制を導入し、「～したい」の実現に向けて取り組んでいる。 ・一人ひとりのニーズに合わせて個別支援を実施している。 ・日々の会話の中から「～したい」という希望を引き出すよう関わっている。 ・外出希望のアンケートを実施し、個別支援につなげている。 ・ご利用者の希望がわかれば担当に報告し、本人と一緒に実現できる関わりを行っている。 ・本人の希望や嗜好を尊重し、食事内容に反映するよう努めている。 ・ミーティングや申し送りを通じて情報共有を行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	12	0	0	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	12	0	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	12	0	0	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	12	0	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	12	0	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめの関わり」で聞き取った10項目を回覧し全員で共有、個人ファイルに記録していつでも確認できるようにしている。 ・入浴介助時は個別の関わりとなるため、聞き取りも積極的に行っている。 ・食事では状態を観察し、食べやすい形態で提供している。 ・普段から会話を重ね、気持ちを聞き出せる関係づくりに努めている。 ・ミーティング欠席者は事前にレジュメに沿って気付きや意見を伝えている。 ・ミーティングでは、登録の方全員のサービス確認や認知症症状への対応について指導を受けつつ、意見交換を行っている。 ・小さな変化も所長やリーダーに報告し対応を相談している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	11人	1人	0人	0人	12人

前回の改善計画	・ご利用者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるために、地域包括や民生委員、ご近所の方とも連携し支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、地域包括支援センターや民生委員、ご近所の方にも協力を得て、必要な支援や見守り体制を整備した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	11	1	0	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	11	1	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	11	1	0	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	11	1	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・見守りながら支えてくれている近所の方や知人の存在を把握している。 ・大家さんや近所の方と連携し、支援できている。 ・普段から民生委員や近所の方々と情報交換を行い、特に独居の方には地域の方と協力して支援している。 ・地域の認知症カフェなどにご利用者と参加し、地域の方や関係機関とも良好な関係作りができている。 ・本人やご家族から聞き取った内容を職員間で共有している。 ・様々な生活スタイルや考え方を理解し、利用者本位で支援している。 ・スーパーへの同行や行きつけの美容院への送迎などを通じて、地域との関わりを支援している。 ・買物支援など、本人のニーズに応じたサービスを柔軟に提供している。 ・本人との会話やご家族からの聞き取り内容は所長やリーダーに報告し、ミーティングで共有している。 ・日常の会話や送迎の際にご家族から話を伺い、自宅での生活状況を把握するよう心がけている。・ご利用者が住み慣れた地域で生活できるよう資源の把握に努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	12	0	0	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	0	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	11	1	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	12	0	0	0	12

1

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターや民生委員、近隣住民、後見人、行政など関係機関と情報を共有しながら、協力を得て支援にあたっている。 ・地域の喫茶店や理髪店、コンビニを利用し、地域との関わりやこれまでの生活習慣を大切にしている。 ・ご利用者やご家族の状況に応じて、「通い」「訪問」「宿泊」の三本柱のサービスを柔軟に組み合わせ、臨機応変に支援している ・日々の変化はリーダーに報告し、タブレット他ノートで申し送りをし、情報を共有している。 ・職員一人ひとりが意識的に記録等を残し、全職員に発信している。・共有された情報に基づき、ご利用者の状態に合わせてサービスを提供している。 ・ご利用者の状態に合わせてアセスメントを行い、介護プランを更新している。また、アセスメントシートはミーティング前に回覧し、ミーティングに出席できない職員の意見も確認している。 ・変化やその日の状態に合わせて入浴、食事形態等を変更し柔軟に対応できている。 ・朝の準備ができていない方には、一緒に行う場合や迎え時間を調整する場合があります、一人ひとりの能力に応じて対応している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

6. 連携・協働

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	11	1	0	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	11	1	0	0	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	11	1	0	0	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	12	0	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所長やケアマネが参加しており、情報は都度職員へ伝達されている。 ・ 特に独居のご利用者の主治医や訪問看護との連携は密に行われている。 ・ 担当者会議に所長とケアマネジャーが参加し、多職種やご家族からの要望も共有されている。 ・ 自治体の会議には参加していないが、民生委員を通じて地域の状況や情報を得ている。 ・ 必要なお利用者には、所長・ケアマネジャーと地域包括の職員とで話し合いの場がもたれている。 ・ 認知症マルシェにご利用者の作品や事業所のポスターを展示してもらった。 ・ トライやるウィークや地域の幼稚園・保育所との交流の機会がある。 ・ コロナ過であっても途切れない関係作りを行ってきた。 ・ コロナが落ち着き、イベントには地域の方やボランティアに加え、職員の子どもの参加できるようになった。 ・ 歌声喫茶や事業所のイベントでは、地域の方やグループホーム三輪、同法人のグループホームのご利用者にも参加を呼び掛けている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

7. 運営

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	12	0	0	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	12	0	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	12	0	0	0	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	12	0	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングでは参加できない職員もいるが、事前にレジュメを配布し全員の意見を反映させている。 ・ミーティングでの決定事項やサービスの内容はその日に連絡ノートにて発信し、全員で周知している。 ・苦情は特になかったが、ご家族からの要望を聞いた際には所長に報告し迅速に対応している。 ・ご利用者やご家族からの意見はリーダーに報告し、所長不在時も自分だけで対応せず指示を仰いでいる。 ・運営推進会議の意見やアドバイスを参考にしている。 ・民生委員がイベントやボランティア活動に参加してくれ、事業所の様子を把握してくれている。 ・地域包括主催のオレンジプロジェクトに参加し、他事業所や地域関係者とのネットワークが広がった。 ・11月に地域向けイベントの計画がある。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	11	1	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	10	2	0	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	11	1	0	0	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	12	0	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 動画研修を法人が取り入れることで資料作成の手間が軽減され、研修に専念できている。 外部の研修を所長が勧めてくれ、10月に参加予定である。 他の職員が受講した研修も伝達研修で受けている。 キャラバンメイト講座に申し込んでいる。 介護支援専門員の資格取得のため、試験勉強中である。 ケアマネの更新研修に参加した。 地域密着連絡会は、今年は開催されていないため、開催された際には参加する。 不適合やインシデント発生時は、原因と対策を当日中に検討し、職員全員で共有している 毎月のミーティングまでに不適合とインシデントの一覧を回覧し、ミーティング内で振り返りと再確認を行っている。 インシデントは積極的にタブレット報告している。また、周囲の職員ともすぐに共有するよう心掛けている。 危険予測の視点を意識し、独居の方の水管理や室内温度などを先読みして対応している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月8日(17:30～18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山田・波平・井岡・佐野・笠原・木村・永野・渡辺・安本・野林・西川・早田・小西(渡辺職員10/1入職)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	12	0	0	0	12
③	プライバシーが守られている	12	0	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	12	0	0	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	12	0	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束・虐待の研修を行い、自分の介護の振り返りができている。 ・日々の業務の中で虐待に繋がる言動がないか常に意識している。 ・居室入室時は必ずノックし、排泄時は戸やカーテンを閉めるなど配慮して、プライバシーを守るよう努めている。 ・成年後見人制度を利用しているご利用者が2名おり、必要に応じて後見人や保佐人と情報共有し連携を図っている。 ・個人情報が記載されたカルテやケアプランは鍵付きロッカーで保管している。 ・写真などの個人情報の掲載は利用開始時に聞き取りを行い、適切に扱っている。 ・情報が記載された書類等は確認した後、所定の場所に戻している。 ・個人情報は外部に持ち出さない。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団紀洋会	代表者	余田洋右	法人・事業所の 特徴	通所・訪問・宿泊を柔軟に組み合わせ、お一人おひとりの想いや生活に合わせたサービスを提供しています。日々の関わりを大切に、気持ちに寄り添った支援を心掛けています。介護職員は研修を通じて専門性を高めるとともに、看護師・音楽療法士・理学療法士などの専門職と連携し、意欲向上や生活の活性化につながる支援を行っています。「担当制」により、継続した関わりの中で個別支援を充実させています。また、地域に根ざした事業所を目指し、地域との繋がりを大切にしながら、日々の生活が充実するよう工夫を続けています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 三田	管理者	山田 千春		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今後も毎月のミーティングは全職員で実施し、情報共有や意見交換を行っていく 新入職員に対して、情報共有や報連相の大切さを伝え指導していく 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングに参加できない職員については、事前に意見や情報を提出してもらい、内容を共有することで、全職員がミーティングに関われる体制を整えている 新入職員の入職があった。毎月のミーティングを通じて業務内容や注意点を共有し、意見交換を行いながら、報告・連絡・相談の重要性を繰り返し伝えている。その結果、職員間の情報共有が進み、チームとしての連携強化に繋がっている 	特になし	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のミーティングでは、全職員が意見交換できる場を整え、気づきや課題を共有し、チームとして統一した支援を行う アセスメントの頻度を増やし、心身状態や生活状況の変化を早期に把握することで、状態変化に応じた、よりきめ細かな支援の提供を目指す
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所に通いたくなるような心地の良い雰囲気づくりを意識する おもてなしの精神を持って、ご利用者・来客者へ対応する 事業所の環境整備に努めていく 	<ul style="list-style-type: none"> 来所されるご利用者や来客者に対し、笑顔で明るく、気持ちの良い挨拶を心掛けた 事業所に通いたくなるような心地よい雰囲気づくりを意識し、おもてなしの気持ちを持った対応に努めた 事業所駐車場に除草剤を散布し、除草を実施した 一部雑草が残っている箇所については、環境整備の時間を十分に確保できなかったため、今後時間を設けて対応していく 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関に季節の花や野菜を植えられ、明るいイメージ におい、騒音に配慮されており気にならない 事業所に来ると職員が明るく挨拶してくれる 感染症を気にしていた時期もあったが、最近は気兼ねせず、訪問できるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所に「また来たい」と感じていただけるよう、心地の良い雰囲気づくりを目指す 玄関だけでなく事業所内にも季節感を取り入れ、居心地の良い空間づくりを行う おもてなしの気持ちを大切に、ご利用者や来客者へ丁寧に対応する
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 必要な方へ地域包括や民生委員と連携し、支援していく 感染症予防に配慮しながら地域行事へ積極的に参加していく 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な方に対し、地域包括支援センターや民生委員と連携しながら支援を行っている インフルエンザ感染症の影響により、三田小学校との初めての交流会は書面での意見交換という形で実施した。感染症が落 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の住む地域の民生委員と繋がり支援してくれている 認知症マルシェでは職員がボランティアとして参加してくれた 狭間中学校、ゆりのき中学校のトライやるウィークを受け入れされ 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて地域包括支援センターや民生委員と連携し、情報共有を行いながら、切れ目のない支援を目指す 感染症の流行状況に配慮しつつ、地域行事への参加やボランティアの協力を依頼することで、ご利用者の活性化

	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所との世代間交流はご利用者の活性化に繋がるため、継続していく ・トライやるウィークや介護実習生等の受け入れを今後も継続し、介護職の魅力を発信していく ・感染症の影響を考慮しながら、ボランティアへ協力を依頼しご利用者の活性化に繋げていく ・新たな繋がりを大切にし、地域全体で高齢者を支える環境作りに貢献できる事を発信する 	<p>ち着き次第、時期を見て直接交流する機会を設ける予定である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園とは、七夕行事を通じて世代間交流の機会を持つことができた ・三田市主催の認知症マルシェに、ボランティアとして参加した ・法人内の三田市内事業所が連携し、地域イベントを実施した。多くの地域住民が参加され、地域との繋がりを深める機会となった 	<p>ていた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーナやフラダンスボランティアの受け入れを行っている ・南区の行事があまり開催できておらず、開催時にはぜひ参加していただきたい 	<p>に繋げる</p> <p>トライやるウィークや介護実習生の受け入れを継続し、介護職の魅力や現場のやりがいを伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の催しに積極的に参加し、新たな繋がりを築き、地域との関係づくりを大切にする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の住む地域の民生委員と連携を図り、必要な際にはご家族の了承を得て情報共有し、対応する ・地域行事や認知症カフェなどへ参加できるよう工夫し、地域との繋がりが途切れないよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の住む地域の民生委員、地域包括支援センターと定期的に情報共有を行い、必要に応じてご家族の了承を得た上で連携し、支援に繋がっている ・地域行事に参加されるご利用者については、事前に訪問を行い、当日の準備や送迎を含めた支援を実施した ・地域で開催されている認知症カフェへご利用者と共に参加し、地域との関わりが継続できるよう支援している ・外出希望に関するアンケートを実施し、ご利用者一人ひとりの意向を把握することで、外出支援や個別支援計画に役立てることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居のご利用者を家族や民生委員とサポートする体制を築いている ・外出やイベントは広報誌にて発信され、分かりやすい ・認知症カフェへご利用者をお連れすることで外部との関わりが持てている ・地域イベントに事業所職員がボランティア参加し、またご利用者ご家族の参加にも繋がった ・車に乗る事が好きのため、ドライブの機会を増やして欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の住む地域の民生委員と連携を図り、必要時にはご家族の了承を得たうえで情報共有を行い、安心して生活を続けられるよう支援する ・地域との繋がりが途切れないよう、日頃から関係づくりを意識した支援を行う ・外出希望に関するアンケートを実施し、ご利用者一人ひとりの希望を把握し、希望に沿った外出の機会を増やすことで、生活の楽しみや活性化に繋げる
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramを使いこなせる職員がいないため、勉強会を実施し、事業所の取り組みを発信していく ・運営推進会議メンバーからいただいたアドバイスを取り入れ、運営に反映していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagram 活用に関する勉強会を法人で開催したが、当日は職員配置が少なく、参加することができなかった。10月に新入職があり、次年度は職員体制を整えた上で、勉強会に参加し、事業所の取り組みを発信していく ・運営推進会議でメンバーからいただいた助言や意見を職員間で共有し、日々の業務や事業所運営に活かしている。共有内容には事業所の取り組みに対する評価や励ましの言葉も含まれており、職員のモチベーション向上にも繋がっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の形はこのままで良い ・事業所の取り組みは広報誌を見ると良く分かる ・法人でInstagramの勉強会を開催する等、情報発信にも力を入れている事が伺える 	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagram では、大きなイベントはできるだけスピーディーに情報発信を行う ・運営推進会議を通じて、事業所の取り組みを地域や関係機関に伝え、理解を深める。また、会議で得た意見や気づきを日々の運営や支援の改善に繋げる
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、地震などの自然災害報告が増えているため、実際に自然災害を経験された方々のお声を伺い、現場での課題や必要な支援について検討した上で防災、災害訓練を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人主催の災害研修に参加し、実際に災害を経験された方の生の声を聞く機会を持った。災害時は想定を超える状況が起こり得ること、また、避難所においてはSOSシートの活用が有効であることなど、現場 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の防災訓練には、参加できていないが、次年度はぜひ参加したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族や地域の方、運営推進メンバーに事業所の防災訓練への参加を呼びかけ、積極的に関わってもらえるよう発信し、訓練の効果を高めるとも

	<ul style="list-style-type: none"> ・食品やおむつ等の備蓄品はローリングストックを意識し定期的にチェックしていく ・ご家族や地域の方にも事業所の防災訓練に参加してもらえるよう発信する ・事業所のある地域の防災訓練に参加し、地域貢献に努める 	<p>での課題や必要な支援について具体的に把握した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品やおむつ等の備蓄品については、ローリングストックを意識し、使用期限を確認しながら定期的な入れ替えを実施している ・感染症状況が落ち着いたことから、ご家族や地域の方へ防災訓練への参加の声掛けを行ったが、参加には至らなかった ・地域の防災訓練には参加できなかった 		<p>に、地域との繋がりや防災意識の向上につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOSシート、緊急持ち出しシートは定期的に見直し確認する
--	---	--	--	---